

# 自動壁紙糊付機械 LEXTAR QUATRO スーパーナイフスリッター搭載 取扱説明書

安全のためご使用前に必ずお読み下さい



このたびは、当社壁紙自動糊付機械『LEXTAR QUATRO』をお買い上げいただき 誠にありがとうございます。

ご使用に際し、事前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分ご理解いただいた上でご使用ください。 ご不明な箇所がありましたら、巻末に記載しました当社までお問い合せ願います。

なお、この取扱説明書はいつもお手元に保管され、ご利用いただきますようお願い申し上げます。



# お使いになる前に

●本機をご使用になる前に、下記の梱包内容がすべて揃っていることをご確認ください。



# 目次

1	取扱い上のご注意
2	各部の名称·······7
3	機械のセット
	脚・テンションバ <del>ー</del>
	本体・コントローラー12
	スリッター13
4	作業準備
	クロス原反のセット
	カットテープのセット
	糊の供給・糊厚調整
	ツメ位置の調整・裁断幅の調整
5	糊付作業手順
	クロスの通し方
	NEW テンションシステム・壁紙裏面検尺機構19
	糊付け作業・ウェイトローラー
6	コントローラーの操作方法
	操作スイッチ・・・・・ 21
	操作パネル・・・・・22
	操作方法 通常モード
	プログラムモード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	詳細画面
	時計画面 27
	履歴画面28
	初期設定画面・端末検知機能
	補正機能・残量設定 ·······30
	時計設定・重量センサー設定31
	エラー表示画面32
7	本体部の掃除・手入れ
8	<b>機械の調整・点検</b>
9	スリッター刃物の交換方法······36
10	<b>故障だと思われる前に</b> 38
11	<b>別売オプション</b>
12	仕様

# 取扱い上のご注意

自動壁紙糊付機械をご使用いただくには、正しい取扱いと定期的な保守・点検が 不可欠です。本文をよくお読みいただき、十分にご理解された後、糊付作業なら びに保守作業を行ってください。

この取扱説明書では、誤った取扱いをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人身事故につながる恐れのあ る内容を示しています。
▲注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、機械の破損・故障につながる 恐れのある内容を示しています。
MXE	これを知っておくと便利という内容を示しています。





煙が出ている、変な臭いや異音がする等の 異常状態のまま使用すると、火災・感電等の 原因となります。すぐにコントローラーの電 源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセ ントから抜いてください。



作業終了後は、コントローラーの電源スイッ チを切り、必ず電源プラグをコンセントから 抜いてください。



コントローラーを分解したり、改造したりしな いでください。感電・故障等の原因となります。 内部の点検・修理は、当社各営業所に依頼し てください。



コントローラーに水が入ったり、濡らさない ようにご注意ください。火災・感電・故障等の 原因となります。屋外での使用や機械の洗 浄時等は、特にご注意ください。



電源コードの上に重いものを載せたり、コードが機械の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電等の原因となります。



電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線等)、 当社各営業所に交換修理を依頼してください。 そのまま使用すると、火災・感電等の原因と なります。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に 曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱した りしないでください。コードが破損して火災・ 感電等の原因となります。



糊付機械作業中は、ローラーやギヤ等の間 に指をはさまないよう十分注意してください。



コントローラーは機械本体に着脱できるよう になっています。着脱の際、必ず先に電源を 切ってください。誤って動き出すとけがをす る恐れがあります。



糊付機械を洗浄するときは、コントローラー とスリッターを取り外して行ってください。 ローラーの間に手を巻き込んだり、スリッタ ーの刃物で手を切ったりする等、思わぬ事故 を未然に防ぎます。



糊付機械を洗浄するときは、オクリダシロー ラーを取り外して行ってください。ドクター ローラーとオクリダシローラーの間に手を 巻き込む事故を未然に防ぎます。



スリッター運転中には絶対に刃物に触れな いでください。手を切ります。 また、スリッター停止中も十分注意してください。



スリッターのカッターボックスを分解しない でください。手を切ります。

コントローラーの電源プラグを抜くときは、 電源コードを引っ張らないでください。コー ドが傷つき、火災・感電等の原因となること があります。必ずプラグを持って抜いてくだ さい。



禁止

濡れた手でコントローラーの電源プラグを 抜き差ししないでください。感電等の原因と なります。また、必ずアースをとってご使用く ださい。

機械の上に重いものを置かないでください。 機械が変形・破損したり、落下してけがの原 因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所等、不安定な 場所に置かないでください。機械の誤作動や、 倒れたりしてけがの原因となることがあります。 必ず水平な場所で使用してください。



脚ロックレバーを解除し、脚を外に開くとき や閉じるときは、手をはさむ恐れがあります ので十分注意して行ってください。



警告

脚を開き組立てるときは、脚が確実にロック されていることを確認してください。ロック の状態が悪い場合、作業中、脚が倒れて、け がをする恐れがあります。また、脚を内側に 折りたたみ収納する際、脚が確実にロックさ れていることを確認してください。ロック状 態が不十分だと運搬時に脚が開き、足をけ がする恐れがあります。ロック状態が悪い場 合は、部品交換ないし修理をご用命ください。





精密機械ですから落としたり、ぶつけたり、極 端な衝撃を加えないでください。

電圧低下、電圧変動によりコントローラーが 正常に作動しない場合がありますのでご注 意ください。



注意

コントローラー、スリッターは、本体から取り 外して別に運搬してください。運搬中に機械 が落下して破損する恐れがあります。機械本 体と脚部を同時運搬される際は、機械本体・ 上下フレームのパチン錠、本体と脚のパチ ン錠を必ず掛けてください。また、糊タンク ロックを「閉」の位置にしてください。



窓を閉めきった自動車の中や直射日光があた る場所等、異常に温度が高くなる場所や、湿気 の多い場所に長時間放置しないでください。 機械の変形・故障等の原因となることがあり ます。



掃除をするときはワイヤーブラシなど、かた いものでこすらないでください。ローラー等 の表面に局部的な力を加えると破損する恐 れがあります。



液晶表示は、使用温度範囲(0~40℃)を超 えると、表示が見えにくくなることがあります。 また、低温(0℃以下)になると表示切替りの レスポンスが遅くなる傾向があります。低温 時は予め10分程度、通電後、糊付作業を行っ てください。

液晶表示は、見る方向によって表示が見えに 注意



ります。

使用後はローラー、糊タンクは水洗いし、ス テーや脚等、糊のついたところは、水を含ま せた雑巾等で拭き取った後、乾いた雑巾で 乾拭きしてください。洗浄、拭き取りが十分

でないと部品の劣化や変色に至る場合があ

くくなることがあります。



ドクターローラー、糊ローラーの水洗いは厳 密に行ってください。乾燥後、薄い糊の皮膜 が残っているだけでも、糊付けのムラ、かす れの原因となることがあります。



オクリダシローラー、検尺ローラーに糊がつ いたときは必ず雑巾などできれいに拭き取 ってください。糊がついた状態で放置すると ひび割れすることがあります。



機械に糊を入れたまま長時間放置しないで ください。特に機械が新品の使いはじめの時 期は、必ず使用後に機械を洗浄してください。 糊ローラー、ナラシローラー、糊上げローラー、 オサエローラー、ドライブローラーが変色(腐 食) することがあります。 ローラーの変色は 高温になるほど進行が早くなりますので、糊 を付けたまま自動車への保管は特に気を付 けてください。





経時により、オクリダシローラーや検尺ロー ラーが変色(黄変等)する場合があります。 ローラー間のグリップ力を保持していれば、 糊付性能に影響はありません。 グリップカが 低下した際は、ピンチ圧を調整したり、場合 によってはローラーの交換が必要な旨、予め ご了承ください。



『LEXTAR QUATRO』は、当社ルーアマイルド (及びピュアラ)6.5~7.5割希釈で均一な糊付け ができるよう設計しております。糊の種類、粘性、 使用条件等によって、糊付き状態にバラツキが発 生します。レギュレーターに、ルーアマイルド(又 はピュアラ)を入れ、規定線までの水の量で希釈 すると6.5~75割希釈のルーアマイルド(ピュアラ) 溶液がつくれます。



糊タンク内に糊を入れたまま一晩放置すると、糊 の流動性が悪くなり糊切れを起こす場合がありま す。ご使用前に糊タンク内の糊をヘラで混ぜるか、 一旦糊をレギュレーターに戻して再攪拌してくだ さい。



製品出荷時、『LEXTAR QUATRO』の糊厚は、 糊ローラーとドクターローラーの隙間量で左右同 じになるように調整しています。しかしながら、実 際に壁紙に糊を付けた状態では、左右の糊付量 に若干違いが発生する場合があります。その場合、 糊付き状態を確認しながら、本書P16・P30を 参考に調整してください。



本体部のコントローラー取付面(軸受力バー2) にシール等貼付しないでください。 本製品は、コントローラーからの信号を非接触(コ

ードレス)にて本体へ送信しています。 シール貼付により信号伝達が阻害され、読み取り不

良を発生させる場合がありますのでご注意ください。



壁紙や接着剤等の材料状況、あるいは高温時、低 温時等、ご使用環境条件等によっては、『LEXTAR QUATRO」の糊付性能、スリッター裁断性能、採 寸性能等が十分に発揮できない場合があります。 このような場合、予め試験使用しご確認された後、 本使用してください。



壁紙材料の種類により壁紙を機械にセットした状 態で放置すると、気中の湿気により巾方向に伸び る材料があります。

このような材料を、スリッター裁断後そのままの 状態で放置すると、湿気により裁断幅が伸び、放 置後にスリッター裁断した裁断巾と巾寸法が異な るため、切断面に段差が生じ美しい突き付け施工 ができない場合があります。このような場合、放 置時間を抑えるなど、予めご留意願います。



スリッターでクロスの耳を裁断時、クロスのセット方法 が悪いとまっすぐ切れなかったり、切れ味が悪い場合が あります。クロス原反の位置、スリッターのカッター位 置を左右同じにセットし、クロスは左右たるみが出ない よう原反を抑えながら機械に引き込んでください。



スリッターでクロスの耳を裁断時、クロス原反の巻き状 態が悪いものや、つぶれた状態の原反等では、まっすぐ 切れない場合や耳の端部がつまる場合があります。 巻きの悪いものは、耳をそろえ直してご使用ください。 つぶれた原反のものは、巻き直すか矯正してからご使 用ください。



カットテープご使用の際、テープが蛇行、シワになる場 合があります。テープはまっすぐに裁断されているもの をご使用ください。

また、テープ側板のあて方でテープにかかるテンション が調整できます。適度なテンションでご使用ください。



脚部を折りたたむ場合は、テープ側板が脚部に干渉し ないよう、テープ側板を縦方向にして下さい。

又、カットテープの巻きが太いと脚部を折りたたむ際、 テープが脚部に干渉することがありますので、予め取り 外しておいて下さい。

無理に脚部を折りたたむとテープ側板やテープ取付板 が破損します。



壁紙や接着剤の種類、状況によっては、十分な性能が 発揮できない場合があります。このような場合、摩耗し た部品の迅速な交換が必要な旨、予めご了承願います。



壁紙材料の種類(巾広の壁紙等)によっては、『LEXTAR QUATRO」による糊付けやスリッター裁断ができない 場合があります。事前に壁紙の巾寸法、有効巾、リピー ト等をご確認願います。



経時のご使用により「LEXTAR QUATRO」の構成 部品が摩耗し、十分な性能が発揮できない場合、当社 営業所宛お問い合わせいただき、部品交換ないしオー バーホールをご用命ください。



『LEXTAR QUATRO』では、予め消耗を想定した 部品があります。それらの部品につきましては、保証期 間内であっても無償での部品取り替えはできませんの で予めご了承ください。



修理が必要な場合、施工現場にて修理するには修理内 容に限度があります。厳密に修理するには、一旦当社へ 機械を戻し、詳細な点検調整が必要なことを予めご了 承ください。



『LEXTAR QUATRO」をご使用の際、取扱説明書、 保証書をよくお読みいただき、ご理解された上でご使 用ください。本機の保証期間は6ヶ月ですが、取扱い 等に問題があった場合、保障できかねる場合がありま すので予めご了承ください。



#### 【全体外観図】

	商品番号	部品名	使用個数	カタログ価格
$\overline{(1)}$	400-514	本体カバー ディープブラック	1	¥4,900/個
Õ	400-534	本体カバー ライトオレンジ	1	¥4,900/個
2	400-051	NEWテンションバー1LS	1	¥3,820/本
3	408-002	NEWテンションバー2	1	¥2,560/本
4	408-674	ワンタッチテープ芯棒(蝶ナット付	) 1	¥1,100/本
5	400-551	テープ側板QN(ネジ無)	2	¥780/個
6	400-552	テープ芯QN	1	¥620/個
$\overline{\mathcal{O}}$	400-566	プランジャーM6	1	¥840/個
8	404-856	蝶ネジM6×12	1	¥270/個
9	408-641	テープガイド 50mm	1	¥440/個
10	400-052	テンションバーロック LS	2	¥1,100/個
$\overline{\mathbb{I}}$	409-712	クロス芯棒	1	¥5,050/本

	商品番号	部品名	使用個数	カタログ価格
12	404-988	クロス側板W(蝶ネジ付)	2	¥850/個
13	408-604	クロス受け摺動材(ネジ側)(ブラック	r) 2	¥340/個
	408-605	クロス受け摺動材(ナット側)(ブラッ:	ク) 2	¥340/個
14	400-263	クロス受けブラケット	2	¥5,150/個
15	400-264	ツマミ	2	¥1,600/個
16	408 <b>-</b> 642	キャスターC (ストッパー有)75	5¢ 2	¥1,480/個
$\overline{\mathbb{D}}$	408-643	キャスターC (ストッパー無)75	5¢2	¥1,280/個
18	408 <b>-</b> 606	脚キャップC(左前・右後)(ブラック)	2	¥430/個
	408 <b>-</b> 607	脚キャップC(右前・左後)(ブラック)	2	¥430/個
19	400 <b>-</b> 053	パチン錠	4	¥1,480/個
*	※⑥のニープ側ものNにはさざが仕屋されていません			



※400-033 福ランジビューラーセットQ(図〜図を組立てたものです。) ¥15,860/セット

※黒丸に白文字は「●」は、ライトオレンジ用部品です。



【本	体・コン	ントローラー】		
	商品番号	部品名	使用個数	カタログ価格
62	408-658	定規ステー	1	¥1,540/本
63	408-659	カッター定規	1	¥3,490/本
64	400-553	ツメステー QN ※1	1	¥5,330/本
65	400-071	ナラシローラー LS	1	¥7,400/本
66	408 <b>-</b> 661	糊ローラー	1	¥26,800/本
67	408 <b>-</b> 662	ドクターローラー	1	¥27,300/本
68	409 <b>-</b> 758	オクリダシローラー	1	¥27,060/本
69	400 <b>-</b> 072	丸パイプステー2 LS	1	¥950/本
60	400-073	ベースステー LS	1	¥3,000/本
61)	400-554	糊タンクストッパー(左)QN	1	¥340/個
	400-555	糊タンクストッパー(右)QN	1	¥340/個
62	408 <b>-</b> 663	ツメステーブラケット(左)	1	¥280/個
	408 <b>-</b> 664	ツメステーブラケット(右)	1	¥280/個
63	400-473	ツメF LG	9	¥120/個
64	408-666	ツメFスペーサー	10	¥80/個
65	409 <b>-</b> 766	ツメR	7	¥280/個
66	409 <b>-</b> 767	ツメ固定具	7	¥300/個
67	408 <b>-</b> 667	ツメRスペーサー	10	¥60/個
68	409 <b>-</b> 769	糊厚調整ブラケット1	2	¥1,550/個
69	409-770	糊厚調整ブラケット2(左)	1	¥480/個
	409-771	糊厚調整ブラケット2(右)	1	¥480/個
70	400 <b>-</b> 075	パチン錠フック	4	¥360/個
$\overline{0}$	400-019	軸受板 1	1	¥4,860/個
$\overline{\mathcal{D}}$	400-517	軸受カバー1 ディープブラック	1	¥1,280/個
72	400-537	軸受カバー1 ライトオレンジ	1	¥1,280/個
73	400-076	糊付ギヤ1 LS	1	¥1,780/個

	冏而毌亏	お品名	<b>使用個</b> 釵	カタロン価格
74)	400-643	ドクターギヤ2 NN ※2	1	¥820/個
75	400-642	ドクターギヤ1 NN ※2	1	¥160/個
76	409 <b>-</b> 777	ナラシギヤ	1	¥640/個
$\bigcirc$	409 <b>-</b> 779	オクリダシギヤ	1	¥480/個
78	409 <b>-</b> 780	セクターギヤ(左)	1	¥3,140/個
	409 <b>-</b> 781	セクターギヤ(右)	1	¥3,140/個
79	400-079	糊ローラーブッシュ LS	2	¥2,990/個
80	409 <b>-</b> 783	ロリング	2	¥1,100/個
81	409 <b>-</b> 784	糊付ギヤ2	1	¥460/個
82	400-576	マルパイプステー補助台(右)Q	N 1	¥110/個
	400-577	マルパイプステー補助台 (左) Q	N 1	¥110/個
83	409 <b>-</b> 785	オクリダシローラーブラケット(左	E) 1	¥280/個
	409 <b>-</b> 786	<u>オクリダシローラーブラケット(</u> オ	5) 1	¥280/個
84	409-787	ガイドレール(左)	1	¥480/個
	400-082	ガイドレール(右) LS	1	¥480/個
85	400-021	軸受板2	1	¥4,860/個
86	400-083	糊付ギヤ3 LS	1	¥960/個
87	400-518	軸受力バー2 ディープブラック	1	¥1,280/個
87	400-538	軸受カバー2 ライトオレンジ	1	¥1,280/個
88	409 <b>-</b> 792	PCB取付板	1	¥1,340/個
89	409-793	PCB止具	3	¥250/個
90	408 <b>-</b> 612	糊厚ツマミ ブラック	2	¥460/個
9)	408 <b>-</b> 613	糊厚調整レバー (ツマミ付) ブラック	2	¥1,980/個
92	400 <b>-</b> 645	糊厚調整ギヤ(右)	1	¥720/個
	400 <b>-</b> 646	糊厚調整ギヤ(左)	1	¥720/個
93	409 <b>-</b> 797	糊厚調整シール	2	¥130/個
94)	400 <b>-</b> 084	ノリオケSW用カム	1	¥720/個
95	409-798	センサー基盤取付キャップ	3	¥60/個
96	400-513	LEXTAR QUATRO コントローラー ディープブラッ	ウー	¥94,540/台
96	400-533	LEXTAR QUATRO コントローラー ライトオレンジ	1	¥94,540/台
97	400-318	電源ケーブル	1	¥7,000/個
98	409-799	AC変換プラグアダプター	1	¥660/個
99	409 <b>-</b> 800	割込SWキャップ	1	¥280/個
00	409 <b>-</b> 801	ストップSWキャップ	1	¥280/個
0	400-557	表示シート1 Q	1	¥3,620/個
102	409 <b>-</b> 803	表示シート2	1	¥3,560/個
103	400-085	ノリローラーベアリング	1	¥380/個
(104)	400-086	ノリオケSW	1	¥1.060/個

※1 400-555 ツメステーQN 一式(砲,前)~句 を組立てたものです。)¥4,480/セット ※黒丸に白文字は「●」は、ライトオレンジ用部品です。 ※2 400-644 ドクターギヤ 1, 2NN セット(砲)(動のセットです。単品では取り扱っておりませんのでご注意(ださい)¥980/セット



【スリッター
--------

	商品番号	部品名	使用個数	カタログ価格
105	400-558	カッターボックスセット (左) Q	1	¥21,800/個
	400-559	カッターボックスセット (右) Q	1	¥21,800/個
(106)	400 <b>-</b> 087	スリッターレール1 LS	1	¥8,100/本
0	400-088	軸受板5 LS	1	¥420/個
108	400-519	軸受カバー5 ディープブラック	1	¥500/個
108	400-539	軸受カバー5 ライトオレンジ	1	¥500/個
(109	409-815	テンションバーバネ	2	¥300/個
10	409-817	スリッターテンションバー用ヒンジ	管 2	¥260/個
1	400-160	耳切りガイド(左) SP	1	¥1,680/個
	400-161	耳切りガイド (右) SP	1	¥1,680/個
(12)	409-820	研磨材	2	¥3,000/個
(13)	409-821	研磨軸	2	¥4,100/個
114	400-162	スケールプレート (左)・SP	1	¥340/個
	400-163	スケールプレート (右)・SP	1	¥340/個

	ㅠㅁ프ㅁ	如口之		ᆂᅀᆷᄰᄺᄵ
	冏而畬亏	部品名	(史用1回数	カタロジ価格
(15)	400-575	カッター Q	2	¥4,760/個
(116)	400-560	スライド固定具 Q	2	¥640/個
1	409-831	刃幅調整ツマミ	2	¥2,440/個
118	400 <b>-</b> 089	軸受板6 LS	1	¥420/個
119	400-520	軸受カバー6 ディープブラック	1	¥400/個
₿	400-540	軸受カバー6 ライトオレンジ	1	¥400/個
(120)	400-167	静電防止金具2 · SP	1	¥800/個
(121)	400-561	スリッターテンションバー・Q	1	¥7,540/本
12	400-562	スリッター電源コード・Q	1	¥6,890/個
123	400-471	スリッターレール2	1	¥5,720/個
124	400-090	スリッターフック(右)LS	1	¥660/個
	400-091	スリッターフック(左)LS	1	¥660/個

※黒丸に白文字は「●」は、ライトオレンジ用部品です。

# 機械のセット

# 脚部の組立、テンションバーの取付

①脚ロックレバーを手で引き上げながらロック
 を外し、矢印Aの方向に開いてください。
 (第1図参照)



第1図(脚部を折りたたんだ状態)

- ②蝶ナットを緩め、クロス受けブラケットを矢 印Cの方向に倒し、蝶ナットを固定してくだ さい。(第2図参照)
- ③クロス芯棒を第2図のように設置してくだ さい。



第2図(脚部組立状態)

#### 脚部の折りたたみ、収納

脚ロックレバーを手で引き上げながら、矢印D の方向に脚を折たたみ、ロックさせてください。 (第3図参照)





脚を外に開くとき、第1図のB部(4カ所) に手をはさむ恐れがありますので、十分注 意して行ってください。

# ⚠警告

脚ロックレバーを解除し、脚を外に開くと きや閉じるときは、手をはさむ恐れがあり ますので十分注意して行ってください。

# ⚠警告

脚を開き組立てるときは、脚が確実にロッ クされていることを確認してください。ロ ックの状態が悪い場合、作業中、脚が倒れて、 けがをする恐れがあります。また、脚を内 側に折りたたみ収納する際、脚が確実にロ ックされていることを確認してください。

#### ⚠注意

脚部組立の際、脚ロックレバーを解除しますと、脚部が フリーの状態になりますので、手や足などにケガをしな いように注意してください。

#### MXE

クロス芯棒は、スリッターに収納できるようになっています。

#### ⚠注意

脚ロックレバーは握ったままの状態ですと、ロックはかかりません。ロックが解除されましたら、脚ロックレバーから手を離してください。組立・収納どちらの場合も同じです。

# 本体部の取付

- キャスターのストッパー(2ヶ所)を下に押し(ON位置)、ロックさせてください。
- ②機械本体を背面より持ち上げ、脚部の上に載 せてください。(第4図参照)

その際、脚部上部(左右2ヶ所)にある位置決 めピンが本体下部(左右2ヶ所)にある位置決 めし溝部(第5図参照)に入るようセットして ください。

③パチン錠(4ヶ所)で本体部と脚部を固定し てください。

#### ぬメモ

脚部前側・左右に位置決めラインがあります。本体・軸 受板内側を位置決めラインに合わせるようにするとセットしやすくなります。

# コントローラーの取付

- ①矢印Aの方向にコントローラーを持っていき、 本体側面のPCB止具(3ヶ所)にコントロー ラー側の切欠穴(3ヶ所)を合わせてください。 (第5図参照)
- ②セットレバー(コントローラー下部)を矢印 Bの方向に引きながら、糊付けギヤ3とモー ターギヤをかみ合わせた状態で斜め下向きに スライドさせ、コントローラーが完全に機械 本体にロックされたところでセットレバーを はなしてください。コントローラーを上に引 っ張っても外れない状態が完全にロックされ た状態です。

# コントローラーの取り外し

コントローラーのセットレバーを矢印B方向に 引きながら斜め上向きにスライドさせるとコン トローラーは取り外せます。

#### ⚠注意

安全の為にコントローラーは、本体から外すと動作しないようになっています。 故障ではありませんので本体にセットして動作確認してください。



第4図

### ⚠注意

製品出荷時は、本体部と脚部を逆に取付けてありますの で、正しい位置に取付け直してご使用ください。

#### ⚠注意

本体部、脚部をパチン錠(4ヶ所)で確実に固定してくだ さい。



# ⚠警告

コントローラーの着脱を行うときは、必ず 電源を切ってください。誤って動き出すと けがをする恐れがあります。

#### ⚠注意

機械本体にコントローラーが正しくセットされていないと、 コントローラーを落下したり、ギヤが破損するなど故障 の原因となることがあります。

また、運転中にセンサーエラーを表示したり、設定長さよりもクロスが長く出たり、動かなくなったりすることがあります。

# スリッターの取付

- ①スリッターを機械本体の背面に取付けます。 スリッターフックをマルパイプステーの両サ イドに引っかけスリッター軸受け板を本体の 背面に入れます。(第6図、第7図参照)
- ②少し持ち上げた状態で奥まで入れロックがか かると収納時の位置になります。

(第8図参照)(出荷時はこの状態になっています) ③少し手前に引いてロックを外し、ゆっくり手 前に引くとセット時の位置決めの溝に当たり ます。その位置でスリッターを下方向に押す とロックがかかり糊付時の状態にセットでき ます。(第9図、第10図、第11図参照)

④コントローラー背面のスリッター電源にスリッター電源コードを差し込みます。
 (第12図参照)

## ▲警告

スリッターの取付けを行うときは必ずコン トローラーの電源を切ってください。 誤っ て動き出すとけがをする恐れがあります。

# ⚠警告

スリッターを取付けるときに刃物で手を切 らないように注意してください。

#### ⚠注意

スリッター取付時、スリッターの上部、下部が左右とも 確実に固定されていることを確認してください。固定 が不十分な場合、スリッターが正常に動作しなかったり 落下する恐れがあります。

#### ⚠注意

スリッターを本体から取り外す際は、事前にスリッタ 一電源コードをコントローラーから外してください。



第6図 スリッターフックをかけます。



第7図 スリッターフックを少しうかせます。



第9図 ロックを外し外側へ開きます。





第10図 ゆっくり開きセットの位置で止め ます。



第8図 奥まで入れてロックする。 (収納状態)(出荷状態)



第11図 下方へ押してセット完了します。

# 作業準備



# クロス原反のセット

- ①脚部の蝶ナットを緩め、クロス受けブラケットを手前に引き出し、蝶ナットを確実に締め込んでください。(第13図参照)
- ②クロス原反にクロス芯棒を通し、クロス側板 で両側からはさみ込みます。
- ③クロス芯棒の満部をクロス受けブラケットに はめ込みます。クロス受けブラケットとの間 隔が左右同じとなるようにクロス原反を中央 にセットし、クロス側板で両側から固定し、ネジ で確実に固定してください。なお、クロス側板 と原反はすき間がないように固定してください。

# ⚠警告

クロス原反にクロス芯棒を通す際、またクロス受けブラケットにセットする際等、手をはさんだり、原反を落下させ、けがをされないよう十分に注意してください。

#### ⚠注意

クロス受けブラケットの蝶ナットは確実に締めつけて ください。 締まっていないと壁紙が蛇行する場合があります。

#### ⚠注意

クロス原反を中央にセットし、スリッター裁断目盛を左 右同じにしてもクロスの耳くずの幅が左右同じになら ない場合は、クロス原反を耳くずの幅の狭い方へ少し 移動してください。

<テープワンタッチ脱着機構>





## カットテープのセット

- ①カットテープの紙管内にテープ芯を入れた後、 テープ芯の穴にテープ芯棒を通し、テープ側 板で両側からはさみ込みます。
- ②テープ芯棒(ネジ部)をテープ取付板の長穴 に差し込み、蝶ナットで確実に締め込みます。 テープワンタッチ脱着機構によりカットテー プの脱着が蝶ナットを付けたまま容易に行え ます。(P14 第Ⅰ図、第Ⅱ図参照)
- ③テープガイドを糊タンク前面の所定位置に上 から差し込んでください。(第14図参照)
- ④カットテープをテープナビゲーターの穴に通 します。(第15図参照)
- ⑤テープナビゲーター先端部分より、ツメステ ーとノリオケの隙間から、ナラシローラーに 沿わせて、入れていきます。

(第16図,第17図参照)

⑥テープナビゲーターを引き出した後、カット テープを取出し、テープガイドに収めてセッ ト完了です。(第14図,第18図参照)

#### AXE

テープナビゲーターはカットテープを本体にセットする時の みに使用します。カットテープを本体にセットした後はテ-プナビゲーターをカットテープから外してください。また、糊 付時にカットテープにテープナビゲーターがついていない ことを確認してください。

ナラシローラーのカットテープ通過部分に糊が付着している場合、 必ず糊を拭き取ってからセットしてください。糊が付着している とカットテープがナラシローラーに巻き込んだり、カットテープ がクロスにダブついて付いたり曲がって付く場合があります。

#### ∧注意

∧注意

カットテープの種類によっては、巻きが太く、取付ける際、脚部に 干渉する場合があります。

#### ▲注意

脚部を折りたたむ場合は、テープ側板が脚部に干渉しないよう、 テープ側板を縦方向にして下さい。

又、カットテープの巻きが太いと脚部を折りたたむ際、テープが 脚部に干渉することがありますので、予め取り外しておいて下さい。 無理に脚部を折りたたむとテープ側板やテープ取付板が破損し ます。

#### ▲注意

カットテープとテープ側板との間にすき間があると蛇行する恐 れがあります。すき間の無いようにセットし固定してください。

#### MXT

カットテープのテンションはテープ側板のあて方で調整してく ださい。

#### AXE

テープナビゲーターを使用すれば、カットテープや下敷テープ をセットする際、ローラーやツメステーを取り外さず、上蓋を閉 めた状態で簡単に装着できます。

#### <テープナビゲーターの使用手順>







第18図

※テープナビゲーターの形状等が変形し、入れづら い場合は、手で形状等を直して使用してください。

# 糊の供給

①糊タンクロックを『開』の位置に移動させます。
②糊タンクを手前より僅かに持ち上げた後、 ガイドレールに沿ってゆっくり引き出し (約7cm)、固定位置で止めてください。 ガイドレールには、固定のくぼみがあります。 (第19図参照)

- ③引き出した糊タンクの上から、糊を糊タンク の中全体に広がるように入れます。
- ④糊タンクを手前より僅かに持ち上げた後、 ガイドレールに沿ってゆっくり押し込み所定 の位置に固定してください。



#### 糊厚の調整

本機正面の糊厚調整レバー(左右各1ヶ所)を 上下することにより、糊ローラーとドクターロ ーラーの間隔が変化しますので、最適な目盛位 置にセットして糊厚ツマミを締めてご使用くだ さい。尚、糊を入れ運転させながら行うと糊厚 調整は容易です。(第20図参照)



第20図

⚠注意

糊厚調整レバーはラベルの目盛範囲内で動かす ようにしてください。無理に動かしますと機械 の故障原因となります。

#### ⚠注意

ツメステーの両側に「糊タンクロック」が装備されてい ます。「糊タンクロック」は運搬や移動の際、振動等に より「糊タンク」が前面に出ないよう事前にロックする 機構です。

- ・糊タンクを引出す場合→(開)の位置に移動した後、 糊タンクを引き出してください。
- ・運搬や移動をする場合→(閉)の位置に移動した後、 運搬や移動してください。

#### ⚠注意

糊を供給する際は、糊タンクをガイドレールの固定くぼ みで止めて行ってください。糊タンクを引き出し過ぎる と床に糊がタレたり、糊タンクが外れたりします。

#### ⚠注意

接着剤の種類や希釈する際の水の添加量や希釈方法、 希釈後の時間、あるいは気温等の環境条件等により接 着剤の粘性が違います。最高スピードで運転しても糊 があふれない程度に入れてご使用ください。入れすぎ ると糊が手前からあふれ出します。

目安として、糊タンク両サイド内側のリブ以下になる よう糊を入れてください。

#### **MXE**

コントローラで糊重量センサーをONにすると、糊タンク 内の糊量が少なくなるとE(Empty)の表示が点滅し、警 報音で知らせる事ができます。(参照P25)

#### ⚠注意

右側のガイドレールには重量センサーが付いています。糊 等が付着しますと、重量センサーが作動しない恐れがあり ます。糊重量センサー、ガイドレール、糊タンク側面は常に されいを状態を保ち、汚れた場合は水を含ませた雑巾等 で拭き取って下さい。(第19図参照)

#### ⚠注意

糊厚を絞った状態で、空運転しないでください。異音が発 生したり、機械が故障する場合があります。

#### ⚠注意

出荷時、糊厚が左右同じになるように調整しています。 しかしながら、実際に糊付けした状態では、左右の糊付 量に若干違いが発生する場合があります。 その場合は糊付け状態を確認しながら、本書P29を参 考に調整してください。

#### ⚠注意

高粘性の接着剤を糊付けした場合、壁紙の種類によっては糊タンク内に糊が残存していても、糊切れを起こしたり、糊付有効m数が減少する場合があります。特に高粘性の接着剤で糊厚を絞り、糊付スピードを早くした場合、発生しやすくなります。

その場合は、適度に粘性をゆるめたり、若干糊厚を増 やしたり、あるいは糊付スピードをゆるやかにする等調 整してください。

16

# ツメ位置の調整

ツメの位置が悪いとクロス巻き込みや異音の 原因となります。作業前に確認・調整を行って ください。

#### ЖК

ツメRは先端が糊ローラーの溝の底に少し触れる程度に 調整してください。又、糊ローラーの縦溝(7本)に各々の ツメBが溝から出ない位置にビスで固定してください。

#### ツメF

ツメFはナラシローラーに触れない程度に手で回し調整 してください。 ウェイトローラー



### 裁断幅の調整

- ①スリッターの刃幅調整ツマミ (左右各1ヶ 所)を時計の針と逆方向に2回転ほど緩め るとカッターボックスを左右にスライドす ることができます。
- ②カッターボックス内のAのラインがスリッター の刃の位置を示しています。Aのラインをス ケールプレートの所要寸法位置にあわせ、A のラインが左右のスケールプレートで同じ値 にあることを確認して刃幅調整ツマミを締め てください。(第21図参照)



∧注意

ツメの位置が悪いと、動作時、ツメがローラーに当り、 **異音が発生する事があります**。

#### ∧注意

壁紙の種類によって表装面が異なり、オサエローラー やドライブローラーの溝により表装面を押さえて異音 が発生する事がありますが異常ではありません。

#### m X F

ツメは消耗部品ですので、破損や磨耗が大きい場合、 新しいものと交換してください。 ※ツメF、ツメBは各2個予備として付属しています。

#### AXE

ツメFを下方向に強く回すと、ツメステーよりツメFを取 り外すことができます。また、新しいツメFを取付ける場 合は、ツメステーに強く押し込んでください。

# ▲警告

本製品は刃物に触れることがないよう安全 には配慮しておりますが、刃物で手を切っ たりしないよう取扱いには十分に注意して ください。

# ▲警告

裁断幅の調整は必ずコントローラーの電源 を切った状態、或いはスリッター電源コード をコントローラーから外した状態で行ってく ださい。誤って動き出すとけがをする恐れ があります。

#### ∧注意

カッターボックスは壁紙裁断時、切りくずやほこりが排 出しやすい構造になっています。しかしながら裁断状 況により、カッターボックス内に切りくず等が蓄積した 場合、切れ味が悪くなります。その場合、竹串等で内部 部品を傷めないよう慎重に取り除いてください。その際、 必ずコントローラーの電源を切るか、或いはスリッター電 源コードをコントローラーから外してください。又、カッ ターボックスは分解しないでください。

# 树付作業手順

# 5

# クロスの通し方

糊タンク内に糊が入っている状態を確認して ください。

- スリッターテンションバーを手前に引いておき ます。(矢印A)
  - NEWテンションバー2は、NEWテンションバ ー1を押さえ込み左右のテンションブラケット のガイドピンを外し、開口部を広くします。

(矢印B)(第22図参照)

- ②本体のパチン錠2ヶ所を外し、上部フレームを 開けてください。
- ③コントローラーの電源をONにし、運転させると、 スリッターの刃物が回転します。
- ④クロスを引き上げ、NEWテンションバー2、1、 カッターボックス、本体部の順に通した後、運転 を停止させます。カッターボックスにクロスを 通す時は原反を足で押さえクロスが張った状 態で通してください。(P19 第23図参照)
- ⑤スリッターテンションバーを矢印Cの方向に閉 じた後、クロスの耳を引き出します。

(P19 第24図参照)

 ⑥原反を足で押さえながらクロスを手で引き、クロスが張った状態で上部フレームを閉じます。 パチン錠2カ所を締めて確実にロックさせます。
 ⑦NEWテンションバー2を矢印Dの方向に持ち上げセットします。(P19 第24図参照)



### ⚠警告

本製品は刃物に触れることがないよう安全には 配慮しておりますが、刃物で手を切ったりしない よう取扱いには十分注意してください。

#### ⚠警告

運転中、ローラー、ギヤ等に手や衣類を巻き込 まないよう十分注意してください。

### ⚠警告

上部フレームを閉めるときは、手をはさまない よう十分注意してください。また上部フレームを 勢いよく閉じると部品の破損原因になりますの でゆっくり閉じてください。

#### ⚠注意

NEWテンションバーにはバネが内蔵されており上へはね 上がる構造になっています。

#### ⚠注意

NEWテンションバー2を外す際は、NEWテンションバー 1を押さえ込んで外してください。

#### ⚠注意

壁紙の種類によっては、重い材料や材料強度の弱いものがあり、 テンションバーをかけることにより壁紙が上らなかったり、ある いは壁紙やテンションバー等を傷める場合があります。このよ うな場合、予め試験使用し、状態によってはテンションバーの使 用を避けてください。

#### ⚠注意

スリッターでクロスの耳を裁断時、クロスのセット方法が悪 いとまっすぐ切れなかったり、切れ味が悪い場合があります。 クロス原反の位置、スリッターのカッターのカッター位置を 左右同じにセットします。カッターボックスにクロスを通す時 は原反を足で押さえクロスを貼った状態で通してください。 上部フレームを閉じる時も同様に原反を足で押さえクロス を手で引き、張った状態で閉じて機械にセットしてください。

#### MXE

壁紙の種類や状態によっては、耳裁ちの必要が無い場合があります。耳裁ちしない場合はスリッターを取り外すか、スリッター テンションバーを手前に引いてセットし、カッター部を通さず、 スリッターテンションバーの手前にクロスを通します。

#### AXE

NEWテンションシステムにより、壁紙がセットしやすくなりました。(P19 第23図、第24図参照)



# 壁紙裏面検尺機構

スリッター背面中央上部に壁紙検尺車輪が付いてい ます。壁紙の裏面の検尺を行うので壁紙の種類による 寸法誤差が少なく正確な採寸を可能にしています。ピ ンチロールより原反側の位置で検知し機械を停止しま す。検尺機構の停止を検知し壁紙が無くなる前に機械 を自動停止し最後の1枚まで有効に活用出来ます。糊 付した壁紙が手前に落ちる心配がありません。

#### MXE

スリッターを取り外した場合、本体の検尺ローラーにて壁紙の検尺を行います。スリッターを外した状態での糊付作業も可能となっています。

#### ⚠注意

スリッター使用時糊付作業の際、壁紙によってはスリッターテンション バーの樹脂部で表面に跡の残る可能性が在ります。 予め試験使用し状態によってはスリッターの使用を避けてください。

#### ⚠注意

スリッター使用時糊付作業の際、壁紙によってはスリッターテンション バーの樹脂部で表面に跡の残る可能性が在ります。 予め試験使用し状態によってはスリッターの使用を避けてください。

#### ⚠注意

初期設定では裏面検尺機構が「OFF」に設定されています。「ON」にす る時はP29を参照し設定を行って下さい。

検尺車輪

壁紙押え

壁紙を通してスリッターテンションバーを矢印方向 へ閉じます。

▲ 注意 スリッターテンションバーを閉じていないと誤作動する恐 れがあります。

セット完了です。 壁紙の端末が通過すると機械は停止します。





スリッターテンションバー





# 糊付け作業

- ①糊付け作業を始める際、操作パネルの**寸動**を 使用し、クロスに糊がついている部分が切断 位置より少し長めになるように送ってください。
   ②カッター定規に添わせてカッターを走らせ、
- 長めに出したクロスをカットしてください。 これでセット完了となります。
- ③操作パネルにて、クロスの長さ設定を行い本 機を運転してください。操作パネルの使用方 法はP21からP27をご覧ください。



#### 壁紙両端の糊付不良を抑えます。

壁紙によっては糊を塗布すると極端に横延びす る物があります。このような壁紙を機械にセット したまま放置するとノリローラー手前でたわみ が発生し、ノリローラーに密着せずに出てきます。 結果、両端の一部に糊が付かない部分が発生し ます。

ウェイトローラーはたわんだ部分を強制的にノリ ローラーに密着させる機構です。(図25参照)



第26図

# ⚠警告

糊付け運転中、ローラー、ギヤ等に手や衣 類を巻き込まれないよう十分注意してくだ さい。

#### ⚠注意

カッターにて裁断する際、必ずカッター定規に沿わせ て裁断してください。

#### AXE

本機は糊付けスピード、寸動スピードおよび割込運転 スピードをそれぞれ任意に設定することができます。 糊付けスピードは**スタート**を押しての運転中、あるい は運転していない時に、寸動スピードは**寸動**を押し続 けての運転中に、割込運転スピードは割込スイッチで 運転中に、それぞれ操作パネルの ④ ⑤ キーを押し てお好みのスピードに設定してください。

#### MXE

作業終了時、丸パイプステーにてクロスをカットすると 便利です。



#### <使用方法>

壁紙をセットし、上蓋を閉じてください。 壁紙 両端と両サイドのウェイトローラー2の端面が ほぼ同じになるように移動します。 (図26参照) ウェイトローラーを奥に倒して (両端を持って 倒してください) セット完了です。 (図27参照) (上蓋を開けるとウェイトローラーは手前に移 動します)

— ウェイトローラー2



第27図

# コントローラの操作方法



# 操作スイッチ

# 割込スイッチ

壁紙をセットする場合や、カウントに関係しない運転 をしたい場合に使用します。 一度押すとON、もう一度押すとOFFになります。



コントローラパネルのキースイッチ部分をカッター等の尖ったものや、ツメ の先で押さないでください。故障の原因となります。

▲ 注意

コントローラの表面についた糊などの汚れを落とすときは、固く絞った雑巾などで拭き取ってください。

A コントローラは危険防止のため、本機から外すと動作しなくなります。本機 注意 にセットして動作確認を行ってください。



液晶画面に異常があった場合、STOPスイッチ、画面切替キー下から1つ目 のボタンを押した状態で電源を入れてください。(リセット機能により内部マ イコンをクリーンにします)異常が修復できない場合はメーカーにご連絡く ださい。

# 操作パネル



#### MXE

時計は出荷の段階で時間を合わせています。時間にずれが生じた場合はP31初期設定画面の時間 設定にて現在の時刻を入力してください。

# 操作方法

本機は、次の2つのモードに従って操作する事ができます。

通常モード …各種設定をその都度入力していく通常の糊付け作業方法

プログラムモード …予め設定しておいたプログラムデータに基づいて順に糊付けしていく作業方法

この2つのモードは画面右下の表示にあるプログラムを押せば通常モードからプログラムモードに替わり、プログラムモードの場合は右下表示の糊付のキーを押すとプログラムモードから通常モードに 変わります。

操作方法・1

- 御材付設定を押します。背景が白くなり 入力待ち状態になります。
- ②糊付けしたい数字を入力し決定を押してください。押し間違えたときはリセットを押してください。 (右図は235cmが入力してあります)
- ③枚数を押してください。"カウント"の 表示が"枚数"になり背景が白くなりま す。
- ④糊付けしたい枚数を入力し決定を押します。(右図は10枚が入力してあります)
- ⑤スタートを押すと糊付けを開始します。糊付けが進むにつれ、糊付量がカウントされ、250cmになった時点で、糊付けが停止します。
- ⑥停止すると、枚数表示が9枚となります。
- ⑦この後⑤と⑥の作業を繰り返します。 枚数が1枚づつ減っていき、Oになっ た時点でスタート押しても機械は動か なくなります。
- ●枚数に関係なく糊付する場合は枚数 を押して、リセットもしくは0を入力し、 決定を押してください。"カウント"と 表示されます。 この後、スタートで糊付けし、設定値に 達するとカウントが加算されます。

#### 時計・カレンダー表示 (P29を参照してください) 《コントローラ表示画面》 詳細(日報)表示 (P28 を参照してください) 糊付モード 計 山枚数 詳細 .... 糊付設定 累計 累計 糊付量のトータルを 通常糊付画面に表示 ┢ 楜付量 残量 できます。 המהבר トータルはA・Bの2 補正値:-2.0% 種類があります。 2653ci 20m/分 IIP 残量值入力画面 Multi Function Display (P33を参照してください) -1 2 3 $\bigcirc$ プログラムモード 4 5 あらかじめ設定しておいた 6 寸動 プログラムデータに基づい 設定 8 9 7 て順に糊付けしていく方法 決定 (P26 を参照してください)

⚠注意

糊付け設定を変更するときはリセットを押して糊付量表示を0cmにしてから行ってください。 糊付量表示値よりも大きい値を設定しリセットを押さずにスタートします と、前回の糊付量表示値からのスタートになりますので、設定値よりも表示 値分が短くなります。

#### MXE

本機は糊付スピード、寸動スピードおよび割込運転スピードをそれぞれ任意に設定することができます。 糊付スピードはスタートを押しての運転中、あるいは運転していない時に設定します。 寸動スピードは寸動を押し続けて運転中に設定します。 割込運転スピードは割込スイッチで運転中に設定します。 各設定は画面下のスピードで設定してください。 画面下部に現在のスピードの目安が表示されます。( m/分) 表示は4m/分~20m/分の範囲で調整できます。

### プログラムモード

プログラムモードは通常モード時に画面右下のプログラムのキーを押してください。 プログラムの画面に変わります。 プログラムは1~3の3つ持ち各100件まで設定できます。

#### (プログラムの設定値入力)

- 1・プログラムNoが1/1の表示状態で糊付設定を押し、設定値 を入力し、決定を押します。
- 2・枚数を押し、設定枚数を入力し、決定を押します。 プログラム1(1/1)の入力が完成です。
- 3・プログラム2(2/2)にするには、決定を押しながら画面 下部のスピードUPを押します。
- 4・上記1・2と同様の操作をし、プログラム2を入力します。
- 5・上記1~3に習ってプログラム3・4・・・と設定します。

#### (登録したプログラムの実行)

6 · スタート・リセットで登録した順番に糊付けしていきます。全てのプログラムが実行されるとスタートを押しても糊付けは行いません。

#### (プログラムの設定確認・修正)

決定を押しながらスピードUPあるいはDOWNを押すことによって、任意のプログラム番号を呼び出せます。



#### AXE

画面右側の詳細を押すとプログラムの一覧を見ることができます。画面右下の ▲ ▼ で任意のプログ ラムが呼び出せます。 設定値の確認や修正をしてください。(P28 参照)

#### (プログラムを追加するには)

- 7. 追加したい箇所のプログラムNoを選択しスタートを約3秒間押し続けます。 プログラムの挿入画面が表示されます。
- 8・決定を押すと画面がプログラム入力待ち状態になりますので1・2に習って設定値を入力してください。 プログラムの追加を中止する場合は決定ではなく、リセットを押してください。
- 9 · プログラムを追加した場合、追加したプログラムNo以降はずれて記憶致します。

### (プログラムを削除するには)

- 10 · 削除したいプログラムNoを選択し、リセットを約3秒押し続けます。 プログラムの削除画面が表示されます。
- 決定を押すと指定したプログラムNoが削除され、次に設定していた プログラムがそのNoに入ります。
   削除を中止する場合は決定ではなく、リセットを押してください。

### (登録済みのプログラムを全てクリアするには)

- 12. 画面右下初期化ボタンを押します。プログラムのオールクリア画面が表示されます。
- 13. 決定を押すとプログラムがオールクリアされます。 オールクリアを中止する場合は決定ではなく、リセットを押してください。



詳細のキーを押すと詳細画面が左側に表示されます。 糊付けの詳細が解り糊付けした時の時間を下に表示します。 (糊付けの詳細は3日分保存します。古いデータから削除します)



詳細部分を見ながら糊付け可能です。また、詳細部下の時刻表示は糊付けした壁紙の オープンタイム等にも利用できます 時計は出荷の段階で時間を合わせています。時間にずれが生じた場合はP31初期設定画面の時間設定にて現在の時刻を入力してください。

時計のキーを押すと時刻を表示する時計画面になります。時計画面はカレンダーも表示し 年・月・日付も表示します。糊付作業をしていない場合、自動的にこの画面に切り替わります (切り替わる時間は設定できますP32参照)。



カレンダー表示時間·累計切替·端末検知·ポンプ連動を設定 できます。(P29参照) 日付毎に当日の糊付トータルを表示します。また期間を選択して各当日トータルを集計することも可能です。

このデータは過去3ヶ月分保存しており、古くなったデータから順に消去していきます。

#### 期間の集計の方法

- 1.①で集計したい日付の最初の部分にカーソル(背景が黒の部分)を合わせます。
- 2.②の集計始点を押してカーソルで集計したい終わりの部分まで移動させます。
- 3・集計が画面上部に表示されます。



### 下記画面での例(9/24~9/28まで集計する)

でカーソルを 9/24 に合わせます。
 を押してカーソルを 9/28 まで移動させます。
 色の変わった部分の集計が画面上部の集計に表示されます。
 (色の変わった部分を順次累積していきます)



#### 初期設定画面



ホソノと連動させる場合に選択します

# 【端末検知機能】

糊付作業中に壁紙がなくなると端末(壁紙終了)を検知して自動停止し、糊付量のカウ ントがストップします。

初期設定画面の「端末検知」をONにすると端末検知機能が働きます。スリッターが接 続されていない場合は端末検知機能は働きませんのでご注意ください。



### 【端末検知後の寸動ボタンによる運転】

壁紙の端末を検知した後に寸動ボタンの みによる運転が可能です。左記の画面表示 後、寸動ボタンのみによる運転が可能で す。寸動ボタンのみの運転を解除する場合 はリセットボタンを押し新しい壁紙をセット し、スタートを押せば、糊付作業を再開でき ます。

▲ 注意 実際の糊付量とカウント数では、誤差が生じます。

▲ 注意 スリッターテンションバーが閉じていない状態 で運転すると壁紙がセットされていても検尺車 輪が回らず端末検知が発生します。必ずスリッ ターテンションバーを閉じて糊付作業を行って ください。

# 【補正機能】

クロスの種類によって、多少設定長さに対して長く出たり、短く出たりすることがあります。 このような場合に、クロスの糊付け長さを割合で補正する機能です。



- 初期設定画面の補正キーを押します。
   この時補正値は左図のように0.0%に なっています。
- 2・画面右側の上下のキーで補正値を設 定します。補正値は-2.0%~+2.0% の範囲で設定できます。
- 3・決定キーを押すと補正値が入力され 糊付画面下部に表示されます。

#### 補正機能の解除

補正の設定値を 0.0% にして決定を押せば補正値は解除されます。

# 【残量設定】

糊タンク内の残量や壁紙の残量等予め設定値を入力し、設定値まで糊付を行ったら警報がな りそれぞれの残量の目安になります。



# リニアミキサーとの連動

初期設定画面のポンプ連動の「残量」 を選択すると残量値を設定後、設定値 まで糊付を行った時にリニアミキサー と接続されている場合はポンプを連動 して動作させることができます。その 際運転モードを「ポンプ強」に選択し必 ずタイマー時間を設定して下さい。

- 1・糊付画面の残量値キーを押します。 このとき残量値はOになっています。
- 2・パネルのボタン(数字)を入力します。 (左図は50入力)
- 3・決定キーを押すと補正値が入力され 糊付画面下部に表示されます。
- 4・糊付け作業を進めるに従い、糊付画 面右下の残量が減っていきます。
- 5・50mの糊付が完了したら警報音がな ります。

### 残量機能の解除

残量設定画面で、右側中央のカウンターリセットを 押すと入力してある数字がOになります。O で決定を押せば残量値は解除されます。

#### ⚠注意

壁紙残量センサーは設定値まで糊付すると警報音が なります。 残量設定画面で設定の解除または再入力 (決定)を行わないと糊付作業の度に警報音がなります。



# 【時計設定】

年・月・日・時間・分とそれぞれ設定可能です。(1を入力 したい場合は01と入力します) 決定キーを押すと初期設定画面に戻ります。

AAメモ 時計は出荷の段階で時間を合わせています。

# 【糊タンク重量センサー設定】

糊タンクタイの残量を重量センサーが感知し少なくなると警報音が鳴ります。糊付、プログラ ム画面左下にE(Empty)が点滅表示されます。

#### 設定方法

- 1 初期設定画面を開き上下のスクロールでポンプ連動に項目を合わせます。
- 2 左右のスクロールで「下限」を選択し決定ボタンを押します。

#### リニアミキサーとの連動

リニアミキサーと接続されている時に重量センサーが感知した場合はポンプを連動して動作 させることができます。その際運転モードを「ポンプ強」に選択し必ずタイマー時間を設定して 下さい。



#### ⚠注意

重量センサーは粘度の違いや、糊付スピードの違いによって多少反 応する重量が異なります。糊を供給する目安としてご使用ください。 重量センサーは糊タンク内の糊量が少なくなると警報音が鳴ります。 糊を投入するか残量設定画面でOFFにしないと、糊付作業の度にE のマークの点滅と警報音が鳴ります。 製品出荷時は重量センサーは解除しています。機能ご使用の際は、 ON状態に設定して下さい。

#### ⚠注意

原液タイプの糊を使用する場合はコントローラの運転スピードを8m/ 分以下に設定し糊付を行ってください。運転スピードが8m/分以上で糊 付を行った場合に重量センサー動作する前に糊切れが発生する可能性 があります。

# 【エラー表示画面】



# 入力電圧異常

電圧が70V以下もしくは130V以上 の場合、適正な電圧では無い為、左記 エラー表示を点灯し、コントローラを 停止します。

適正な電圧で再度作業してください。



# 過負荷異常

ギヤ・ローラー等に噛み込みや巻き込 み等があり、コントローラのモーター に過負荷がかかった場合、左記エラ ー表示を点灯し、コントローラを停 止します。

原因を取り除き再度作業してください。



# センサー読込み異常

糊付け運転中、上部フレームのパチ ン錠が閉められていない場合、コン トローラが本体に正しくセットされ ていない場合、あるいは、センサー 部分に異常があった場合に左記エラ ー表示が点灯します。

(本体側センサーケーブルに水や糊 が付着していないか等も確認してく ださい)

# 本体部の掃除・手入れ



掃除・手入れの程度が機械の性能と寿命に大きく影響しますので、糊付作業が終われば 以下の掃除及び手入れを行ってください。

### 本体部の掃除

- ①機械本体を空運転させながら糊厚調整レバー を絞って糊ローラーとドクターローラー表面の 糊を糊タンクに落とします。
- ②糊付機械を停止させた後、上部フレームを開き、コントローラー、スリッター、オクリダシロ ーラー、ツメステー及びナラシローラーを機械本体より取り外してください。

(第28図参照)

- ③取り外したツメステー及びナラシローラーは、 スポンジ等を使用して水洗いしてください。
- ④機械本体より糊タンクを完全に引き出し、糊 タンクの中の糊を糊バケツに戻します。
- ※糊タンクを引き出す際に糊ローラーより糊が床に 垂れることがありますので、予め床に養生しておい てください。
- ⑤糊タンクから糊上げローラーを外し(P29 第29図参照)、スポンジ等を使用して糊上げ ローラーを水洗いしてください。この段階では、 糊タンクは完全に洗浄せず、ゴムベラで掻き 落せる分だけ糊を落します。
- ⑥糊上げローラーを外した状態で糊タンクを機 械本体にセットします。
- ⑦手で糊ローラーを回転させながら、糊ローラ ー及びドクターローラーをスポンジ等で水洗 いしてください。(P29第30図参照)
- ⑧再び機械本体から糊タンクを完全に引き出し、 糊タンク内を洗浄します。

# ⚠警告

機械本体を洗浄するときは、コントローラー、 スリッター及びオクリダシローラーを取りは ずして行ってください。ローラーの間に手や 衣類を巻き込んだり、スリッターの刃物で手 を切ったりするなどの思わぬ事故を未然に 防ぎます。

#### ⚠注意

糊ローラー、ドクターローラー表面の糊は完全に除去してく ださい。薄い膜状に糊が残っているだけで糊付け状態が悪く なることがあります。又、オクリダシローラー、検尺ローラー についても糊が表面に残っていると、表面にひび割れを起こし、 正常な運転をしなくなる恐れがあります。









第30図

- ⑨糊上げローラーを糊タンクに取付け、機械 本体にセットします。
- 10スリッター、コントローラー、オクリダシロー ラー、ツメステー及びナラシローラーを機械 本体に取付けてください。
- ⑪洗浄後、乾いた布等で水分をよく拭き取っ てください。また、脚やフレーム等に付着 した糊もきれいに拭き取ってください。

### 機械の手入れ



#### ⚠注意

センサー基板の部分には水や糊をかけないようにして 下さい。万一かかった場合は、雑巾などで拭き取り乾燥 させてください。

#### ∧注意

機械本体を洗浄するときは、コントローラーとスリッタ ーを取り外して行ってください。第31図のようにホー スなどで水を直接コントローラーやスリッター等に掛 けないようにしてください。汚れを落とすときは固く絞 った濡れ雑巾をご使用ください。水が掛かった場合に は水分をよく拭き取ってください。

#### AXE

定期的にローラーの軸受部やギヤ部にグリースを注入 したり、ギヤの歯に固まってついた糊を落としてくださ い。運転中の異音の発生を防ぐとともに、常に機械を スムーズに運転させることができます。

第31図

# 機械の調整・点検

本機には、糊厚調整工具以外の工具は付属されていません。 本機の調整点検には、ドライバー(+)、六角レンチ(3mm)、ボックスレンチ(10mm) 等が必要ですので、事前に市販の工具(ドライバー、レンチ等)を準備してください。

### 1.糊ローラーとドクターローラーの クリアランス調整

#### [糊が絞れないときの調整]

(糊付機械に糊が入っていない状態で行うと容易です。) ①左右とも糊厚調整レバーを目盛0の位置に あわせ、糊厚ツマミを締めます。

- ②左右とも六角穴付止ネジを六角レンチ(3mm) で緩めてください。
- ③第32図のように、糊付けギヤと軸受板の間にある糊ローラーブッシュ六角部に付属の糊厚調整工具をはめ込み、矢印の向きにゆっくり動かしてください。糊ローラーが移動します。
- ④ローラーを手で回しながら、糊ローラーと ドクターローラーのすき間がOmmの位置で、 六角穴付止ネジを確実に締め込んでください。

#### [左右で糊付量が違うときの調整]

- (糊付機に糊を入れた状態で行うと容易です。)
- 例:左側を右側と同じ目盛にあわせる場合
- ・1
   た右とも糊厚調整レバーを同じ目盛にして、
   糊厚ツマミを締めます。
- ②左側の六角穴付止ネジを緩めて、第32図の ように糊厚調整工具を使って、糊ローラーを 移動させます。
- ※矢印の向きに動かすと糊が絞れ、反対の向きに動か すと糊が多くつくようになります。
- ③割込みスイッチで運転させて、 糊量を確認してください。
- ※壁紙等で実際に糊付け確認すると、より正確に調整 できます。
- ④左右のバランスが同じになったところで六角 穴付止ネジを確実に締め込んでください。



▲警告 コントローラーは取り外した状態で調整

してください。

#### ⚠注意

糊ローラーとドクターローラーは強く接触させないで ください。接触させるとローラー表面が傷つき、糊付け 状態が悪くなります。

#### ⚠注意

左右の糊付状態を確認する時は、必ず上ブタを閉めて ください。 上ブタが開いていると、実際の糊付状態と異なる場合 があります。

# 2.検尺ローラーのピンチ圧調整

(クロスの蛇行調整・クロス原反があがらないとき) クロスが蛇行する場合やクロス原反が上がら ないときは、ボックスレンチ(10mm)又はスパ ナ(10mm)で本体軸受板(3、4)の六角ナット を緩めてからピンチ圧調整用バネ止メネジ(六 角穴付)を六角レンチ(3mm)で回してピンチ圧 を調整してください。(第33図参照)

[例]

### クロスが、糊付機械正面からみて左側に寄って出 る場合

糊付機械正面からみて右側のピンチ圧調整用 バネ止メネジ(六角穴付)を六角レンチで緩め てください(時計逆方向)。又は左側のピンチ圧 調整バネ止メネジ(六角穴付)を六角レンチで 締めてください(時計方向)。又、上記調整はク ロス(糊付けなし)を通しながら行うと容易に行 えます。調整が終わったらボックスレンチ(又は スパナ)で六角ナットを締めてください。

#### MXE

締めすぎるとクロスの糊付け長さは設定より若干長め に出るようになります。 また締めすぎ、緩めすぎてもクロスの引き上げ能力が 落ちます。



スリッター刃物の交換方法

スリッターの刃物は、消耗品です。スリッターの切れ味が悪くなったら刃物(カッターボックス)を交換してください。 厳密に修理する場合は、一旦当社へスリッターを戻していただき、 詳細な点検調整を行ってください。

# スリッターの刃物の交換方法

### 1.カッターボックスの外し方

- ① スリッターを本体より外してください。
- ② 刃幅調節ツマミを時計の針と逆方向に回し、 後ろのスライド固定具から外してください。 (第34図参照)



第34図

# ⚠警告

刃物を交換するときは必ずスリッターを本 体から取り外して行ってください。

# ⚠警告

本製品は刃物に触れることがないよう安 全には配慮しておりますが、刃物で手を切 ったりしないよう取扱いには十分注意して ください。

# ⚠警告

カッターボックスを分解しないでください。 手を切る恐れがあります。

#### ⚠注意

スリッターを本体より取り外す際は、事前にスリッター電源 コードをコントローラーより外してください。

- ③軸受板内側より、軸受カバーを固定している 皿ビス(左右・各2個)を(+)ドライバーで緩め て軸受カバーを外します。 (第35図参照)
- ④ スリッターレールを固定する皿ビス(左右・各 4個)を(+)ドライバーで緩めて外します。
   (第36図参照)
- ⑤第37図のように軸受板を回転させた後、カッターボックスを固定しているナベビス3個を(+)ドライバーで緩めてカッターボックスを取り外してください。
   ※第38図は、完全にカッターボックスを取り外した状態

### 2.カッターボックスの取り付け方

カッターボックスの軸にコイルバネ、ワッシャーを順にはめてください。(第39図参照)



第39図

- ② カッターボックスをスリッターモーター部に 取り付けます。カッターボックスの軸をスリッ ターモーター部の受け穴にはめ込みます。
   (軸の凸部を穴の溝にはめ込む)。
   この時、(+)ドライバーで軸を少しずつ回しま すと、確実にはめることができます。
- ③ナベビス3個を締めて、カッターボックスをス リッターモーター部に固定します。
- ④軸受板を元の位置に戻し、皿ビス(左右各4
   個)を締めてスリッターレールと軸受板を固定します。
- ⑤ 皿ビス (左右各2個)を締めて軸受カバーを軸 受板に取り付けます。
- ⑥ スライド固定具を動かし、刃幅調整ツマミの後 ろに合わせ、締め付けてください。

#### ⚠注意

セラミッククロス、無機質クロス等、壁紙の種類によっては、極端に刃物を傷めますので注意してください。

#### MXE

スリッターの刃物は、3分間程度空回ししますと切れ味 がよくなる場合があります。

#### ⚠注意

右側 (コントローラー側) の軸受カバー6を外す際、ス リッター電源用コードを傷めないよう注意してください。



第35図











第38図

本機に異常が生じた場合は、次の手順に従ってチェックしてください。







# 別売オプション



404-955 NEWコントローラー収納ボックス ※中仕切り付の高強度コントローラー収納ボックス ※コントローラーや付属品の収納、運搬に最適です。]



408-670 テープガイド38mm巾 408-671 テープガイド45mm巾



400-550 ワンタッチカットテープ取付キットQN



405-806 クロス受け板



400-169 カッターボックスセット (左) SP・リサイクル 400-170 カッターボックスセット (右) SP・リサイクル



**316-524 PEカバーシート(3枚入)** ※棚付機械の本体を覆うPEカバーシート です。



404-918 NEWカバーシート ※現場のほこりをかぶらず、糊の乾燥防止に もなります。



**409-840** *φ*100mmキャスター(ストッパー有) **409-841** *φ*100mmキャスター(ストッパー無) ※薄型スパナ(19×21mm)を使用し、 標準キャスター(*φ*75mm)と交換できます。



●本体	(本体カバー、クロス芯棒、テンションバー、付属品の重量は含んでおりません
重量	25.1kg(本体部 18.4kg 脚部 6.7kg)
	全幅 1,180mm(コントローラー装着時 1,283mm)
寸法	奥行 400mm (本体部 255mm)
	全高 813mm (脚折りたたみ時 423mm)
有効糊付幅 1,010mm	
糊タンク容量	約12.5リットル

#### ●スリッター

重	量	3.9kg
		全幅 1,190mm
寸	法	奥行 130mm
		全高 200mm
有効裁断幅		720~980mm
電	源	コントローラーから供給
田	カ	20W

●コントローラー

重量	2.9kg
電源	AC100V 50Hz/60Hz
出力	33W(最大180W)
消費電力	220W
糊付スピード	3~20m/分
使用温度範囲	0~40℃

※製品内容・仕様は改良等のため、予告なしに変更することがありますので、 予めご了承ください。



本社 〒939-1272 富山県高岡市下麻生4649 TEL(0766)36-2800代

### フリーダイアル:0120-303-841